

昭和55年1980

2月

横浜市関係

- 1―三越ファッションの専門店「三越エレガンス」、上大岡駅前進出決定
- 3\*―港北区福祉の風土づくり推進委員会 障害者・老人の意識調査によると、「街に出ることがきらい」が、独り暮らし老人で四四%、身障者四一%
- 4―市営地下鉄三号線、横浜駅〜新横浜駅間(七・一km)起工式
- 6―「市長と市民の会」、市長支援決定
- 7―「市民の市長をつくる会」、次期市長選へ独自候補擁立決定。▽中区の米軍根岸住宅地区内に、返還が決まっている横浜住宅地区等の代替施設建設計画判明
- 8―出産理由で四十四年十月に解雇された保土ヶ谷区の主婦、会社と和解し職場へ復帰
- 12―市長、五十五年度当初予算案発表。総額一兆九一五億二、〇九一万円と初めて一兆円突破。前年当初比二二・〇%増。一般会計五、二六五億四、六四八万円。前年当初比八・八%増。▽東京湾横断道路の海底ボーリング調査開始
- 15―「暮らしのガイド」五十五年版、自治会・町内会を通じ全世帯配布。▽県書店商業組合の横浜駅東口出店対策委員会 店舗面積縮小等を盛り込んだ要望書を「有隣堂」と「丸善」に手渡す
- 19―市児童福祉審議会、障害児の保育問題について、市長に中間答申

自治体・国・社会

- 1―政府、五輪不参加決定。▽神戸地裁、四九年参院選糸山派違反で、中心運動員を「地域主宰者」と認定。6―保田KDD旧社長室参与自殺。7―日向関西経済連合会々長、徴兵制研究を提起。8―川崎市事業所統計調査によると、第三次産業の就業人口五一・三%。9―神奈川県知事、総額九、七五六億三〇〇万円の五十五年度当初予算案発表。前年当初比九・九%増。12―神奈川県エネルギー懇話会、「分権的エネルギー政策への試み」を知事に提言。▽社保審、厚生年金の六五歳支給開始に反対の答申を厚相に提出。▽神奈川県教委、公立高の新区案発表。五六年度から一六に。19―国立公害研、植物と大気浄化作用の仕組み発表。ポプラは亜硫酸ガスに有効。▽日銀、公定歩合二%上げ七・二五%へ。21―津地裁、鈴鹿市役所女性職員が昇格・昇給差別による損害賠償を求めていた裁判で原告勝訴判決。22―五十四年度学校保健統計調査によると、ほとんど全員に虫歯。25―海上保安大学校で初の女子合格者。26―海上自衛隊初参加による「リムパック」始

昭和55年1980

3月

横浜市関係

- 21―市長、総額二二億四、九〇〇万円の二月減額補正予算案発表。一般会計のうち公営住宅建設費六三億八、五〇〇万円減額が最大。▽緑区美しが丘中部自治会など「ロダン・ブルデンとピクトリア王朝展」開催
- 26―市営バス本牧〜関内ルートに「バス接近表示システム」がスタート
- 28―市会二月定例会始まる
- 1―市教委、学校給食用パンへの「臭素酸カリウム」を使用禁止にする
- 3―中区福富町で「福富町周辺環境浄化推進会」が発足
- 4―横浜駅東口出島地区へ「そごう」出店確定。▽南区のコミュニティ・カレッジ始まる。十大都市初の試み
- 6―緑区元石川第三土地区画整理事業の完工式。面積八八万㎡
- 7―六月に東横浜〜山下ふ頭間でSILを三日間運転することが決定
- 9―旭区上白根町市営ひかりが丘団地自治会で、聴覚障害者と健聴者の会結成。▽「港南区自主防災組織」結成総決起大会
- 13―みなど経済振興懇談会の第一回テーマ別懇談会「観光」開催。▽自治省から市への五十四年度特別交付税額、二億九、

自治体・国・社会

- まる。▽神奈川県、有リン合成洗剤中止を盛り込んだ合成洗剤対策推進方針決定。▽厚生省の医師数調査結果によると、五三年末現在で全国の医師数一四万二、九八四人。人口一〇万人当たり一二四・一人。29―ベトナム難民施設、大和定住促進センター開所。▽文部省、小・中学校の指導要録を改定し、絶対評価を導入。
- 2―大蔵省・日銀、円安対策五項目発表。5―京成電鉄、民鉄協から脱会。6―早大商学部で入試漏えい発覚。▽天野貞祐氏死去(95才)。7―国鉄初の女性駅長誕生。8―予算案衆院通過。昨年に続き本会議で逆転可決。9―五十四年厚生行政基礎調査によると、六〇歳以上の世帯は二四四万四千世帯、総世帯数の七%。12―川崎市、第三次中期計画発表。14―東京地裁、四九年の日教組ストに対し、地公法三七条一項、六一一条四号違反で、横枝委員長らに有罪判決。▽米国民間団体の推定によると世界人口四五億人突破。17―「石原産業事件」で津地裁、港則法を初適用し有罪判決。18―K D

- 三〇万円減額
- 15 | 市会予算特別委員会に市長出席。Y C A T問題について陳謝
- 20 | 港北区師岡貝塚の学術調査始まる
- 21 | 市営瀬谷住宅の全面建て替え工事に反対し、居住者の一部が横浜地裁に建て替え工事の停止を求める仮処分申請。▽公害病認定患者の死者百人になる
- 25 | 港南区センターオープン。八館目
- 26 | 市長、三菱重工横浜造船所の金沢埋立地への移転、正式決定と発表
- 27 | 合成洗剤追放の条例制定を求める直接請求署名運動スタート
- 28 | 「横浜芝山漆器研究会」結成
- 31 | 市長と三菱重工社長、横浜造船所の金沢移転に関する協定書に調印。▽立体模型「開港期の横浜」を市庁舎市民広間に展示。▽市社会福祉審議会・児童福祉審議会、リハビリテーション施設の方について市長に最終答申提出。▽大岡川左岸植樹帯第一期工事成完

- D事件で郵政省幹部二人を取崩容疑で逮捕。19 | 日銀、公定歩合一・七五%上げ九%へ。▽政府、電気(平均五〇・八%)ガス(平均四五・三四%)料金値上げ決定。四月一日より実施。
- 21 | 神奈川県生協連、生協の店舗からメーカー品の有リン洗剤追放。22 | 中央大学神田駿河台校舎の閉校祭。23 | スウェーデンで原発建設に関する国民投票
- 24 | 環境庁、国の機関で有リン合成洗剤使用自粛方針決定。25 | 川崎市長、情報公開制度導入にむけたプロジェクトを新年度に結成と発表。▽五四年国民生活実態調査によると、一世帯平均年間所得三五八万五千円。前年比六・七%増。26 | 源泉徴収制度違憲訴訟で東京地裁合憲判決。28 | 政府、各省庁地方ブロック機関統廃合計画決定
- 1 | 広島市、一〇番目の政令指定都市に。▽日本医師会会長選挙で武見太郎氏一三選。5 | K D D事件で板野前社長、業務上横領容疑で逮捕。7 | 国鉄・専売公社・国を相手取り、市民が嫌煙訴訟を東京地裁に起こす。
- 8 | 税理士法改正案成立。9 | 金属労協に賃上げ回答。鉄鋼一萬一千元(六・一五%)、造船

- 5 | 南区六ツ川大池地区連合自治会による児童図書館オープン
- 7 | 鳴海正泰総務局専任主幹退職。▽横須賀新線の訓練運転始まる
- 10 | 市長と三菱重工社長、金沢埋立地分譲のための本契約締結
- 11 | 横浜駅西口の第二広場に全国一規模の「バス接近表示システム」稼動
- 15 | 横浜駅東口出島地区開発の事業主体となる新会社の社長に、京急社長内定
- 16 | ミス横浜初の公開審査
- 17 | 「市民の市長をつくる会」が、予備選挙による独自候補選出を提唱
- 19 | 上大岡バスターミナル開設
- 20 | 「保土ヶ谷区休日診療所」オープン
- 23 | 「人形の家」友の会発会式。▽横浜線十日市場駅前、全国初の三階建自転車駐車場オープン。▽根岸線沿線住民代表、国鉄総裁に増発等陳情
- 24 | 横浜市薬剤師会、バンクーバー市の薬剤師会と「姉妹薬剤師会」の縁結び
- 25 | 環境アセス適用第一号の「横浜(ハリポット)」の準備書縦覧
- 27 | 横浜郵便貯金会館オープン
- 28 | 市と商工会議所、S Lを六月十三、十四、十五の三日間三往復運転と発表。
- ▽「宅地開発要綱」改正案、市会第一常任委員会に報告。八年ぶりの改正
- 30 | 合成洗剤追放条例制定を求める主婦グループ、署名簿を各区選管に提出

- 九、五〇円(五・三四%)。▽中山伊知郎元中労委会長死去(81歳)。10 | 自民党浜田幸一代議士、ラスペガスとばく事件の責任をとり議員辞職。12 | 米国オリンピック委員、モスクワ五輪不参加決定。14 | アカデミー賞最優秀作品に「クレイマー、クレイマー」。15 | 都の人口、戦後初の減少。▽鎌倉市、姉妹都市訪問市民に旅費支給。▽サルトル死去(74歳)。▽春闘交通スト。私鉄大手一萬二、二〇〇円(六・七二%)でスト突入直後解決。公労協午後スト中止。▽糸山英太郎参議院議員、農林水産政務次官を辞任。17 | 中医協が五一年に実施した医療経済実態調査によると、開業医一カ月の収支差額は二〇六万円の赤字。▽中国、I M Fに加盟。20 | 国鉄運賃五・二%値上げ。▽総理府「社会福祉に関する世論調査」によると、高福祉高負担に賛成二四%、反対四〇%。21 | 陸運事務所川崎支所オープン
- 川崎ナンバ登場。22 | 川崎市電気自動車を試験的に導入。25 | 小・中学校の四〇人学級法案成立。29 | 文部省調査によると大学・短大の助手以上で過去五年間論文ゼロが二五%。

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。\* 印は日付不確定のため新聞発行日。